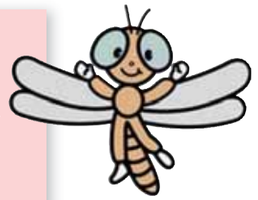

『トンボ飛び交うまち さが』を目指して

「環境都市さが」の取り組みの一部を紹介します

「さが環境コラボ」を設立し、「さが環境フェスティバル」を開催

平成22年2月の「佐賀市環境都市宣言」を機に、市をあげて環境問題に取り組んでいます。

平成23年8月には、市内の各地で積極的に環境保全活動に取り組んでいる市民、事業所、市民団体、行政が互いに連携するための場として「さが環境コラボ」を設立しました。

これから「未来へ繋がる環境保全の絆（きずな）づくり」の醸成を目指して、各団体相互の連携を深め、協働して事業を行うなど、活動の輪を広げていきます。

平成23年10月に、さが環境コラボの主催で、「さが環境フェスティバル」を県立森林公園で初開催しました。

市民団体や企業が多数出展し、相互の交流を図るとともに、約9，600人の来場者に、環境保全や地球温暖化防止に向けたそれぞれの活動のPRを行いました。

▲さが環境フェスティバルの様子
（来場者によるどんぐりの苗木づくり）

資源の循環

平成24年度までに燃えるごみの量10％削減（平成20年度比）を目指し、3R（リデュース、リユース、リサイクル）を推進しています。

生ごみの堆肥化・減量化を応援します

市内各地へ出向き、堆肥化などごみ減量に関する体験型講座を無料で開催しています。また、堆肥化に取り組んでいる個人や団体、地域に対してもサポートを行っており「北川副美しい増田を作る会（北川副町増田自治会）」では、米ぬかぼかしによる生ごみ堆肥化に取り組まれ、3カ月間で燃えるごみ量を15・4％削減されました。

▲米ぬかぼかしづくり

紙袋を活用した雑紙の回収を行っています

燃えるごみの約3割は紙類です。リサイクルできる紙類を出しやすくするために、名刺サイズ以上の紙や菓子箱は紙袋に入れて資源物回収の日に出すことができます。

〈出し方〉
・紙ひもでしばる。
・取っ手がプラスチック製のものははずしてください。

温暖化防止

平成26年度までに佐賀市域の温室効果ガス排出量の6％削減（平成2年度比）を目指し、それぞれの立場で取り組める温暖化対策を進めています。

公用車に電気自動車を導入しました

地球温暖化対策の一環として、佐賀市の公用車に電気自動車を4台導入しました。今後イベントや出前講座などでも活用していきます。

また、本庁での充電には、太陽光発電システムから発電した電力を利用することができ、九州では初の取り組みとなります。

▲太陽光を利用して充電することができます

一般住宅と自治公民館への太陽光発電システム設置補助を行いました

太陽光発電は、温室効果ガス排出削減効果が高く、省エネルギーと共に売電収入が見込め、停電時に非常用電源としても利用できるため、一般住宅への設置数が大幅に伸びています。

さらに今年度から、自治公民館への補助も始めました。

▲自治公民館に設置された
太陽光発電システム
（寄人公民館）

SAGAパークアンドライドを推進しています

通勤の途中で駐車し、バスや鉄道に乗り換える「パークアンドライド」は、CO_2削減はもとより、渋滞緩和や公共交通機関利用率増加などに特に効果が高いとされています。平成23年11月からは、南部4支所に加え、大和支所、金立公民館、森林公園、JR伊賀屋・鍋島・久保田駅を利用した取り組みも開始しました。

森・海・自然との共生

2011生物多様性地域戦略シンポジウムを開催しました

日本一の干潟と環境都市さがを全国に発信し、生物多様性の重要性を啓発するため、平成23年11月に、東与賀文化ホールふれあい館でシンポジウムを開催しました。

有明海干潟が「絶滅危惧種」の宝庫であり、生物の多様性を守り自然共生社会をめざしていくことが、いかに重要であるかを参加者とともに考えました。

▲有明海のシチメンソウ

▲生物多様性シンポジウム
（パネルディスカッション）

このほかにもさまざまな取り組みを行っています。くわしくは、市のホームページをご覧ください。

◎問い合わせ　本庁　環境課　環境都市宣言係
☎40・7202　FAX26・5901